

公益財団法人東京観光財団

令和5年度 定時理事会 議事録

令和6年2月29日

公益財団法人東京観光財団

# 公益財団法人東京観光財団

## 令和5年度 定時理事会 議事録

開催日時 令和6年2月29日(木) 16時00分～17時00分

開催場所 東京都新宿区戸塚町1-104-19  
リーガロイヤルホテル東京 2階 ダイアモンド  
次の理事及び監事は、Web会議システムにより参加  
栗山 千三 矢野 史朗 岡本 次郎 小林 治彦

出席者 理事総数 24名  
出席理事 18名(代表理事含む)  
理事長 金子 眞吾  
副理事長 高橋 広行  
専務理事 鈴木 勝  
常務理事 浦崎 秀行 町田 忠 高橋 芳行  
理事 堀田 武靖 栗山 千三 矢野 史朗 平澤 哲哉  
工藤 哲夫 津国 保夫 成瀬 正治 石井 敏子  
後藤 雅宏 古澤 英樹 井上 俊幸 岡本 次郎  
監事総数 3名  
出席監事 3名  
岡安 雅人 小林 治彦 武市玲子

議長 代表理事(理事長) 金子 眞吾

### 議題

#### 決議事項

- 第1号議案 令和6年度事業計画及び収支予算(案)について
- 第2号議案 令和5年度評議員会の招集について

#### 報告事項

- 報告事項1 職務執行状況の報告について
- 報告事項2 中期経営計画の一部改定について
- 報告事項3 諸規程の改正について
- 報告事項4 業務監査の中間報告について

### 会議の概要

#### 1. 開会

(事務局)

本日の理事会は、Webシステムによる参加も可能としており、音声と映像により、適時意見表明が互いにできる通信が整っていることを確認されている旨を報告し、開会した。

## 2. 理事長挨拶

(理事長) 挨拶を行う。

## 3. 会議成立報告

(事務局)

理事総数24名、出席理事数18名であり、本理事会は定款第35条に定める定足数を満たしており、適法に成立したことを報告する。

## 4. 議事

(議長)

これより議事に入る旨、発言する。第1号議案 令和6年度事業計画及び収支予算(案)について、事務局に説明を求める。

(事務局)

第1号議案 令和6年度事業計画及び収支予算(案)について、審議資料(第1号議案)に基づき説明する。

(議長)

質問や意見等の発言を求める。

(議長)

賛否を諮ったところ、全員異議なく、第1号議案は原案どおり可決する旨を宣する。

(議長)

続いて、第2号議案 令和5年度評議員会の招集について、事務局に説明を求める。

(事務局)

第2号議案 令和5年度評議員会の招集について、審議資料(第2号議案)により説明する。

(議長)

質問や意見等の発言を求める。

(議長)

賛否を諮ったところ、全員異議なく、第2号議案は原案どおり可決する旨を宣する。

## 5. 報告事項

(議長)

報告事項1 職務執行状況の報告について、報告事項2 中期経営計画の一部改定について、報告事項3 諸規程の改正について、報告事項4 業務監査の中間報告について、一括して事務局に報告を求める。

(事務局)

報告事項1 職務執行状況の報告について、審議資料(報告事項1)により報告する。

(事務局)

報告事項2 中期経営計画の一部改定について、審議資料(報告事項2)により報告する。

(事務局)

報告事項3 諸規程の改正について、審議資料(報告事項3)により報告する。

(事務局)

報告事項4 業務監査の中間報告について、審議資料(報告事項4)により報告する。

## 6. 質疑応答

(議長)

質問や意見等の発言を求める。

(理事)

事業計画の「観光ボランティアの管理運営」のところに記載のある観光ガイドサービスについて、どれくらいの人数で実施しているか、教えていただきたい。

都内観光客が非常に増えているので、採用する人数も増えることになると思う。また、オリンピックの際に外国語のできるボランティアもかなり多くおられたが、そういうレガシーも活用していけばより幅広い外国人観光客の支援ができると思う。特に高年齢の方は、退職した後のやりがいにもつながる話であり、これからの時代はこうした部分が重要になるのではないか。

(事務局)

観光ボランティアについては、3,000名登録を目標として長年取り組んできた。ボランティアとしての活動ができている方、そうでない方がいらっしゃるが、登録数は概ね達成したところである。内訳としては比較的中高年の方が多く、自分の人生経験や語学力を活かして、やりがいを感じながらいきいきと生活したいという方が多数参加されている。

一方で、継続性を考えるともっと若い方を増やさなければならないため、おもてなし親善大使や大学生向けのプログラムを積極的に行い、年代間でのバトンタッチも工夫しながら運営している。

(理事)

インバウンドが増えて大変ありがたいと思っているが、心配なのはオーバーツーリズム

が発生しないかということ。特に地方のキャパシティの小さいところは、既に交通機関等でそういった問題が生じている。東京においては、幸いキャパシティが大きいので、電車やバスでオーバーツーリズムが発生することはあまり考えられないと思うが、宿泊業をやっている者としてお客様の動向を見ていると、やはりゴミの問題、煙草のポイ捨てがある。

国によってはそういった規制がない国もあるため、道路で煙草を吸ったり、ゴミをポイ捨てしたりと、違う（東京の）環境にうまく適応いただけていない部分があると思う。

先ほどガイドのボランティアの話もあったが、あわせてマナー的なものも必要だと思う。東京ではこういうマナーでやっているということを誰かが言わないとなかなか浸透しない。

今はそれほど問題になっていないが、訪日外国人数を 3,000 万人から 6,000 万人にするという計画がある中で、いかにオーバーツーリズムを起こさせないかというのは、行政や我々の機関の中でやっていくしかないと思う。旅行客を増やすことは大事だが、市民生活との摩擦が起きないようにすることも必要なので、ぜひその点も考慮に入れていただきたい。

（事務局）

ご指摘の点は大変重要であり、持続可能な観光であるためには、旅行者、観光客と地域が Win-Win でなければ長続きできない。特にマナーについては大事だが、ご指摘のとおり外国人の方にはわからないという側面がある。財団も東京都もそこは認識しており、マナーを知ってもらうための動画を作りデジタルサイネージで流すということもやっている。

今後、ボランティアもそういった面で貢献できないかということも含めて、持続可能な観光、地域と共に歩む観光が実現できるよう考えていきたい。

（理事）

新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行してから外国人の方がたくさんお越しになり、旅館営業が一番困っているのが、早朝の羽田空港・成田空港行きの足の問題である。

昨年末は、タクシー会社に事前に予約をしても受け付けていただけなかったため、お客様に成田や羽田のホテルに宿泊するようお願いしたことがある。

今月は、前日であればタクシーのアプリで予約でき、早朝 5 時に宿からタクシーで羽田に行くことができるが、春になればまたきっと前日予約が不可能になり、早朝便のお客様の足が無くなるという問題が他のホテルでも起きるのではないかと思う。

これは東京都の交通系の部門へのお願いになると思うが、都内からバスを出していただく等、送客に関して不便を感じないような対策が東京でいま一番必要ではないかと思っている。

よろしくお願ひしたい。

（事務局）

こうした実態があるということはお話をお聞きして認識したので、今後実態をなるべく捉え、財団として何かできることがないか、財団内で共有し、東京都とも話し合いをしながら、探っていきたいと考えている。

## 7. 開会

（議長）

以上をもって、本日の審議及び報告をすべて終了した旨を告げ、理事会の終了を宣して解散した。